

宗祖日蓮大聖人御降誕800年慶讃報恩記念事業 妙見様(妙見宮)再建事業浄財御協賛

現状の御報告

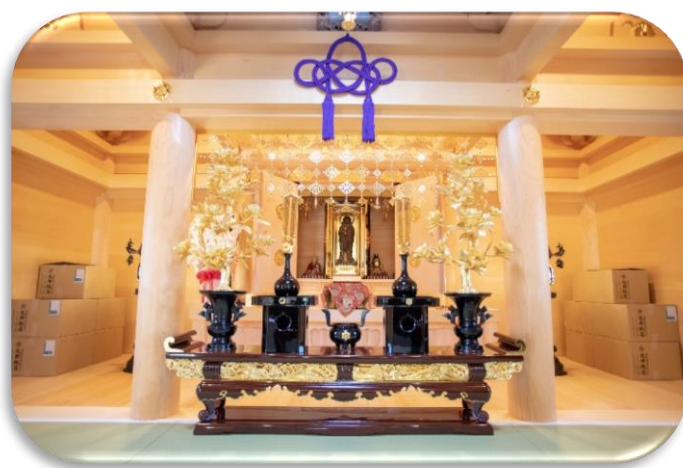


合 掌

日蓮大聖人は建長5年（1253年）4月28日の朝、旭日に向われ初めて「南無妙法蓮華経」の御題目をお唱えになられました。

「南無」とは、「私は至心に帰依します」というサンスクリット語の「ナモ」を漢字にあてたものですが、そこには「南ではない」＝「北」という意味がこめられています。

これは「北斗七星」・「北極星」の「北」です。その神格化された神様が、**北辰妙見大菩薩**・・・**開運**の為、私達の人生を歩む羅針盤として共々に頭を垂れたいものです。





去る平成28年2月より始まりました妙見宮再建工事も、強制寄付に一切頼らず檀信徒有縁各位による温かな**御協賛の結果**、2年3ヶ月の歳月を経て、去る**平成30年5月14日**には、無事竣工落慶式の運びとなりました。又、**総額協賛金10万円以上**の皆様方は、その功德を万代に至るまで顕彰させていただく為、「**妙見宮再建協賛者顕彰御芳名板**」を去る3月7日常設と致しました。(但し、御申込時の御芳名) 當山に対する赤誠顕著なることを、ここに深く御礼申し上げます。

尚、本工事に伴い環境整備付帯工事もあり、何卒引き続き御支援の程、御願い申し上げます。(協賛金は今後共、随時受け賜ります。可、分納) 今後共、**30万円以上**御協賛



頂いた方は、境内御芳名板に末永く顕彰させていただき、併せてその御芳名を篤志記録帳に記し、**本殿妙見尊像台座下**に万代まで奉安し、永く現世安穩・家運長久をご祈念させていただきます。

再 拝

平成30年6月吉日

妙見宮

海上山 妙福寺 第45世

廣野 観匡 日威